

第11回瀬戸内4県都市長会議を開催しました

令和7年10月20日（月）に、かがわ国際会議場（高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー棟 6階）において、「第11回瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

本会議は、4市（岡山市、広島市、高松市及び松山市）が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目的に、平成27年度から毎年、開催しています。

今回の会議における令和7年度事業報告では、世界最大級の旅の祭典である「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」に4市で出展し、旅行会社と一般の旅行者をターゲットとして、国内外を問わず、瀬戸内の魅力を広くPRした旨を報告しました。今後においても、旅行業者との直接的な商談の機会を創出できるようなイベントに積極的に参加し、ビジネス面において効果的なプロモーションを展開していくことが必要であると意見集約されました。

令和8年度事業案としては、訪日需要の高まりや円安などの影響により、今年上半期の訪日外客数が過去最高となる中、インバウンド需要の更なる取り込みに向け、大きな経済波及効果が期待できる「高付加価値旅行者」に訴求する既存の観光コンテンツの抽出や、新たなコンテンツの造成を行い、4市共同によるプロモーションに取り組む方針となりました。

テーマ意見交換では、「アート」というものが、芸術分野から観光客の誘致や地域活性化につながる存在であり、開催地である島しょ部を始め、本土でも飲食や宿泊などで地域に還元されていることから、「アートをいかした地域振興」をテーマとして、瀬戸内4市の事例を共有し、議論を行いました。

なお、テーマ意見交換からは、本市長会議では初めて4市の市議会議員を招き、4市長4議長の合計8名で意見交換を実施し、4県都の魅力ある資源を今後も効果的につなぎ合わせ、エリア価値を高めていきたいとして意見集約されました。

瀬戸内4県都市長会議当日の様子

